



東京都家庭薬工業協同組合会報

# かていいやく

平成8年8月 通巻59号



# かていいやく

本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、よって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上をはかることを目的とする。

定款 第1章 第1条(目的)より

## 目 次

通巻59号 1996年8月15日

巻頭言	風間八左衛門	3
再任にあたって	塩澤 譲	4
インタビュー	玉川博之	6
—これからの家庭薬—		
やっぱり家庭薬		9
(有)延命堂山田屋薬局	藤井正昭	
伝統薬物語／浅田飼		10
消費者対応委員会のご紹介	鯉沼信二	12
—消費者ニーズを製品に生かす—		
委員会だより		14
薬事、GMP、流通、広告、労務、 厚生、総務・財務、広報		
会員会社訪問		
株式会社山崎帝國堂		8
養命酒製造株式会社		13
株式会社龍角散		17
お知らせ・役員改選		18
会報に寄せて	松井壽一	21
—親の意見となすびの花は—		
家庭薬グラフティ		23
編集後記		
事務局だより		24
表紙題字・最高顧問	津村重舎	
表紙絵	・相談役 堀 泰助	

## 卷頭言

# 副理事長就任にあたって



副理事長  
風間八左衛門

このたび、塩澤理事長はじめ理事各位のご推举により、副理事長という重責を担うことになりました。思い返せば、当組合は弊社相談役の津村重舎が長年にわたって、その運営に力を入れていた組合であり、私も微力ながら最善を尽くしていきたいと存じます。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

医薬品業界の中で大衆薬のおかれた状況は昭和36年の国民皆保険制度の導入により大きく変化いたしました。その前年の昭和35年には、医薬品の生産額に占める大衆薬の比率は46.4%でしたが、昭和48年には20%を割り、この15年間は15%前後で推移しております。このように大衆薬は低迷しているといふものの、一定の比率を保ちつづけてきたということは、大衆薬が医療全体の中でそれなりの役割を果たしてきた結果と申せましょう。

増加する一方の医療費については、昭和56年を境に適性化の動きがおこり、医療用医薬品の適正使用の促進とセルフメディケーションの浸透がはかられ、これに伴う自己負担の増加は大衆薬振興の追い風となり、またスイッチOTCや診断薬の承認などの大衆薬活性化の要因も見られます。

家庭薬の市場を見ますと、状況は必ずしも楽観を許しません。家庭薬の一層の振興をはかるためには、その有効性と安全性が一般消費者に支持されてきた実績を踏まえて、より積極的なプロモーション活動を展開することが必要であると思われます。消費者に対する

啓蒙の必要性は申し上げるまでもありませんが、特に医師を始めとする医療関係者への啓蒙活動が今後一層重要になると考えられます。

自分の健康は自分で守るというセルフメディケーションの思想は、今日のような医療体制が整備される以前から国民一般の間で広く行われてきたものですが、医療制度や設備の充実、医療の専門領域の細分化とともに忘れ去られていきました。そのため医師など医療関係者は概して言えば家庭薬に対する認識が浅く、誤解を抱いている場合があります。セルフメディケーションの中で家庭薬の果たす役割、位置づけについて正しく認識していただくための業界の努力が求められる所以です。セルフメディケーションを定着させるためには、業界が一致団結して行政や医療関係者と協力しつつ努力することが必要です。

一方、流通問題に目を移せば、規制緩和の流れの中で、医薬品と食品との区分の見直しや販売規制の見直し、平成8年度末の医薬品の再販制度の全面廃止の流れの中にあり、家庭薬業界にとり、大変厳しい状況にあります。このような行政の動きに対しては、医薬品の本来あるべき姿を今後とも主張していくことが必要と思われます。

私は、新薬メーカーから昨年ツムラに入り、まだ家庭薬業界には不慣れな点も多く、組合員の皆様に助けていただき、塩澤理事長のご指導を仰ぎながら、組合員各社のさらなる発展のため邁進いたしたく存じます。

(株式会社ツムラ 社長)

# 再任にあたって

## —併せてこの機会にお願いしたいこと—



理事長 塩澤 譲

組合員の皆様には益々ご清栄のことと拝察申し上げます。いつも当組合の運営につきましてご高配を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

ご案内のように、先般開かれました定時総会及びその後の理事会におきまして、前期に引き続き理事長の役を仰せつかりました。問題山積の折ではありますが、組合及び組合員の皆様の発展のため精一杯努めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### ■二つの大きなできごと

さて、前期2年を振り返ってみると、大きな動きが二つありました。

一つは、一般用医薬品のプロモーションコードの策定であります。これは医薬品の本質と使命にもとづいて自ら規範を制定し、それを遵守することによって医薬品に対する信頼を取り戻そうというのが目的であります。

もう一つは、昨年7月のP.L法施行であります。この法律は製造物の欠陥により人の生命、身体または財産に損害を与えた場合の賠償について定めたもので、消費者保護が主眼となっております。

両者はこのようにその趣旨と目的を異にしておりますが、いずれも時代の要求にもとづくものであり、人々の生命と健康にかかわる製品を製造販売しているわれわれ医薬品メーカーにとって大きな意味をもつものでした。とくにP.L法については施行1年を経過し、

これまで、大きな訴訟に至った例はないといふものの、この問題がもつ重要性を考えますと、業界全体での早急な体制や対応策づくり、さらにその充実化が必要と思われます。

したがいまして、今期2年間の組合の運営につきましても、こうした時代の変化や要求に十分に留意し、早く軌道に乗せることができるよう、皆様の協力をいただきながら業務を進めてまいりたいと存じております。

ところで、ちょうどの機会でありますのでこの紙面をお借りして、現在、組合が抱えております問題のうち、このところ老朽化が目立ってきております組合建物の現状についてご説明申し上げ、皆様の理解を賜りますようお願いいたしたいと存じます。

### ■建築後40年になる建物

当組合の現在の建物（事務所）は、ご承知のように昭和42年1月に、土地とともに前の所有者から譲り受けたものですが、建物自体は昭和30年代半ばに建てられたものでした。このためここ数年、建物や設備の老朽化が進み、それによる事故が多くなってきました。水道管の腐食による漏水や屋上や壁面からの浸水、外壁の落下、エレベーターの故障など後を絶ちません。

こうした事故はその都度応急措置をしてしのいきましたが、それにも限度があります。また壁面や床の汚れも目立ち、設備全体も古くなってきております。

## ■テナントからの申し入れ

こうした折、昨年末にテナントの(株)メイソン様から「このままの状態では人事管理や労務管理の面からも放置できない。しかるべき改裝をしていただくか、でなければ出ていくしかありません」と申し入れがありました。

ご承知のように、組合の建物は5階建てで1階と5階を組合が使用、2階から4階までを同社に賃貸しております。

年間の賃料は、当組合の会費を含めた全収入の3割近くを占めます。もし出でていかれますと、この収入がなくなるうえ、昨今の賃貸市況からみて、替わって入る借主はまずいないと思われます。新しいテナントが見つかなければ、組合の会計は赤字となり、それを補うには組合費の大幅な値上げが避けられません。

## ■水回りを一新、壁面も塗装

このため、理事会でその対応策を検討いたしましたが、出ていくのを思い留まっていたくにはそれなりの改裝を行うとともに、周辺の家賃の状況からある程度の減額はやむを得ないだろうとの結論に達し、テナントと交渉を行いました。その結果、継続して借りていただくことになり、早速工事に着手しました。水道管の取り替え、流し器具の取り替え、トイレの全面改裝、壁面の塗装、床材の張り替え等が中心でしたが、これにより建物や設備はずいぶんきれいになり、テナントからも

大変喜ばれました。

費用は約1,300万円を要しましたが、会計に余裕がありませんので、設備の大半はリース形式（分割払い）といたしました。

## ■今後も欠かせない補修・塗装

残る大きな工事として、屋上の防水工事があります。これもできるだけ早い時期に行いたいと思っておりますが、これが終了しますと、建物に関して直面していた問題は一応一段落いたします。

しかし、老朽化の進行という問題は依然残り、その度合いによってはテナント（家賃収入）の確保ということも難しくなってまいります。したがいまして、今後も時に応じて補修・改裝を行っていく必要があり、老朽化がさらに進めば、新しい角度からの検討も必要になるものと思われます。

実は、こうした建物に関する問題は組合の本来の活動からは離れたところにある問題です。しかし組合の運営上、家賃収入が果たしている役割の大きさから、これを切り離して考えることはできません。しかも、組合のこの土地と建物は先輩の方々が残された貴重な財産であります。この財産を受け継いでいる私たちとしては、その価値を損なうことなく次の世代に引き継ぐ義務があります。

どうぞ、これらの建物に関しましても、本来の活動と併せて、よろしくご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(養命酒製造株式会社 社長)



▲リニューアルした(株)メイソン様のオフィス

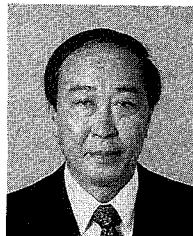


▲組合のオフィス

## これからのお家庭薬

玉川衛材株式会社社長

玉川博之



### 新薬、直販メーカーへの競争対決

#### ■共同で新製品の開発を

——薬業界に限らず、今、我が国はかってない変革の時を迎えており、家庭薬業界も岐路に立っていると言っても過言ではないかと思われますが、まず、家庭薬の現状についてお話しください。

玉川 我々の業界では、一般薬だとか、大衆薬だとか、配置薬だとか、医療用医薬品だとか、専門用語を使いますけれど、それを使われる本当の最終ユーザーの消費者さんの目からみますと、治療薬か保健薬かという認識しかないとと思うんですね。さらに分けるとすれば、病院でもらう薬なのか、お薬屋さんで買うのかこの二つぐらいしか考えていないのではないかと思います。

ところで、今、薬局・薬店は全国で約5万店。その中の1万店のスーパーや量販店が85%位を売っていらっしゃる。そういう状況の中にあって、薬だけでなく、いわゆる薬粧とか家庭用品の売り上げトータルがどんどん増え、さらに再販制度の撤廃もあり、町の薬局さんは成り立たない時代になるんじゃないかなと思うんですよね。

そのような全体の業界環境の中にあって、先日、スーパーの実際の売上表を見せていただいたのですが、確かに我々組合の製品は上位に入っているんですが、ただし一つしか入っていない。そこで新薬メーカーさんとか、直販メーカーさんの合計トータルと比較すると、我々家庭薬メーカーは圧倒的に負けてい

る。

これは偽らざる実態ですし、マンネリを打破するというか、今こそ家庭薬は一致団結して、新薬メーカーさんとか、直販メーカーさんへの競争対決するという意識を全員で確認していく必要があると思います。

——新薬メーカー、直販メーカーと対決する方法としてはどんなことをお考えでしょうか。

玉川 まず、製品の開発に対する協力ができるのではないかという気がします。個々の企業にはかなりエキスパートの方がいらっしゃいますし、そのなかでスイッチOTCの問題だとか、新剤型の問題だとか、そういうものを含めて、情報の交流会をもっともっと活発にしていってもいいのではないかでしょうか。実験能力のある方もいらっしゃいますし、場合によっては、委託試験とか、試験協力ができるのではないかという気がしますね。

じゃあ、お互いに製品がぶつかるのかというと、決してそんなことはないでしょうし、むしろ、今の家庭薬の現状の中で考えますと、全く同じ物ができたとしても、役割分担をすれば協力できると思います。現状においての家庭薬の組合員の構成はそうなっていますし、



お互いに開発に対する試験協力まで含めて、皆でもうちょっと話し合う必要があると思います。

今、組合には薬事に対するものもありますが、今や薬事取り締まりの問題ではなく、どう新しい製品を創っていくか、ということがポイントです。薬だけでなく、機能性食品を創れる可能性もあるかもしれませんし、そういうものを、もう少しお互いに交流し合って、場合によっては創る人と売る人があってもいい、片方が創る人、片方が売手になってもいいという気がしています。互にざっくばらんに話し合って助け合っていく時だという気がしています。

——そうですね。家庭薬の会員なら、決して絵空事ではありませんね。

## ■国際交流の時代

玉川 それから二番目ですね。国際交流が今どうしても必要だと思います。確かに、その国によって制度があり、制度上の違いもありますが、だんだん規制が撤廃されますし、メーカーが責任を持つ時代になりつつありますので、もう少しお互いが世界中の人達と襟を開く、これからは世界中どこで創って、どこで売ってもいい時代であり、すでにそういう時代が始まったと思うんですね。日本で創って、日本だけがマーケットという時代ではありませんし、いいものがあれば世界から持ってくれればいい。

逆に、我々が特に東南アジアへ行く場合な

ど、よほど情報を交換しないと、下手な所へ出していくと失敗することがままありますから、出方とかやり方など、皆で意見交換したいと思います。そういう話し合いの場所がないんですね。情報交換会のようなものがあればと思います。

——おっしゃる通り、国際化は家庭薬にとって大きな課題の一つでしょうね。

玉川 日本で売っていないなくても世界で売っているいいものが沢山ありますし、逆に日本の薬だって、日本でこれだけ売れているですから、世界に通用するんじゃないかという気がするんですよね。もっともっと国際化していくなくてはいけないし、少なくとも、そういう委員会があって、皆さんで協力しあってね。一社でやるとお金もかかりますから、皆で出し合い、助け合えば、個々の費用はわずかでできますからね。皆さんで討議しあうのも楽しいのではないでしょうか。

## ■物流の共同配送

——物流の問題もクローズアップされていますが、この点はいかがですか。

玉川 今、組合員は何社でしたでしょうか。

——68社ですね。

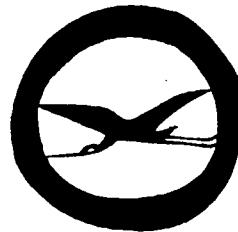
玉川 68社ですか。我々は卸屋さん経由のメーカーが集まっている組合員なわけですが、変な話ですけど、68台分のトラックが毎日、同じ所に配送していることになるんですね。これは大変不合理なことで、一台のトラックで、持つていこうと思えば持つていけるわけ



ですね。同じ場所にさえあればですね。

セブンイレブンさんの例ですが、昔は各県に一つずつデリバリー問屋を設けまして、そこに全部、メーカーから商品が配送されるんです。早い話が運送会社ですよね。問屋さんなんだけども運送会社で、その運び貨をセブンイレブンが決定する。ですから従来の問屋さんではなく、運送会社として機能している傾向があるんですね。ですから我々も指示されたそのデリバリー問屋へ商品を卸し、デリバリー問屋はすべてのメーカーの商品を積んでセブンイレブンを一件一件回るというやり方なんです。ところが、さらに合理化しようと、セブンイレブンと王子運送がすでに提携しています。そこで、全国のセブンイレブンに王子運送が配送する。我々は何をしたらいかというと、何もしなくていい。王子運送が会社に取りに来て、仕分けして各店に運びます。問屋さんは要りません。こういうふうになるそうですが、物流の合理化の恐ろしさというなんでしょうか。

まだ、我々保護されているなと思うのは、日用生活品における家庭薬というのは、非常に小さく、ダイエーさんの中の家庭薬の売上げは0.1%くらいではないでしょうか。だから



まだ何も言われていないんですね。食品や衣料品などの大型のものは恐ろしいほど変革しています。ですから、少なくとも共同配送ぐらいのこととは検討してもいいのではないかと思いますね。

変りつつある物流の現場の話を営業部長さん同士が真剣になって対応していく時ではないでしょうか。問屋さんとの役割分担についても、原点に立ち返って真剣に話し合う必要があります。

家庭薬はいいものをたくさん持っていますし、今こそ団結すれば、新薬屋さんも敵わないでしょうし、皆で真剣に一生懸命に取り組めば可能性は大きいにあると思います。

——ありがとうございました。

(東京都家庭薬工業協同組合監事)

## 会員会社訪問



### 株式会社山崎帝國堂

東京都中央区日本橋2—1—3  
日本橋朝日生命館

#### 沿革

明治21年(1888)、山崎嘉太郎氏が神田花房町(現・外神田)で、売薬、薬品、化粧品卸を業とする帝國堂を創業。大正11年、法人化し株山崎帝國堂に組織変更。平成5年、神田工場を千葉県柏市に移転。

#### モットー

天の時、地の利、人の和。

#### 社章

山崎の山と帝國の帝を図案化したもの。



わが国でも指折りの老舗で、明治、大正、昭和、平成と百年以上にわたり母娘三代いくたの人々に親しまれている毒掃丸は代表的便秘薬として知られている。現在5種類の便秘薬をラインナップ。高齢社会に向けて新製品の開発にも余念がない。



代表取締役社長  
竹内彪衛  
昭和14年生まれ  
東京農業大学  
農学部林学科  
卒業

# 家庭薬はセルフメディケーションのはしり

(有)延命堂山田屋薬局 (東京都墨田区京島) 藤井正昭先生



## ■くすり屋さんと呼ばれる店に

日本人はとても薬好きな民族ですし、薬や薬局に対して独特の思いをもっていますね。ですから、店づくりにあたって心掛けているのは、お客様にとって親しみが湧く店、言葉を換えますと、誰からも“くすり屋さん”と気軽に呼ばれるような薬局をめざしています。

そうした親しまれる店にする際に欠かせない薬が、いわゆる家庭薬といわれる薬だと思います。調剤や、他のOTCの薬と比べると温かみというのでしょうか、家庭薬にはそんな感じがありますね。

- 経営のモットーとしては、
- ・みなさまの健康づくりに奉仕します。
- ・症状、体質、年齢に合ったお薬を提供します
- ・ご満足いただけるよう誠心誠意お答えします

以上の三点を実践するようにしています。これは本来の薬局として、ごく当たり前の務めかもしれませんのが、できるだけ近づけたいと思っています。

最近のお客様は、副作用に対してはことのほか敏感ですし、おざなりな対応では不信感を与えかねませんので、正確に答えるようにしています。そのためには不断の勉強が欠かせませんね。

時に分からぬことや知らないことを尋ねられることがあります、そんな時は絶対に断らず、調べてお答えしています。

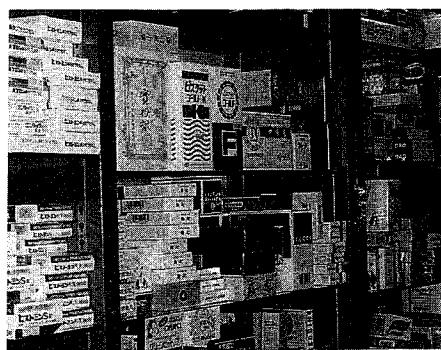
## ■日本人が薬を好きになったのは

家庭薬は江戸時代から続いている薬がたくさんありますし、伝統があるせいか、一般的な市民も親しみをもっています。日本人がくすり好きになったのも、安心して飲め、穏やかに効く、家庭薬という存在があったからではないでしょうか。外国と比べても非常に珍しいケースですし、自分の健康は自分で守り、コントロールするというセルフメディケーションの考えにもぴったりの薬ではないかと思いますね。

お客様の反応を見ていますと、家庭薬は長年の歴史を経て来ただけあって、安心感があるようです。

客層は比較的、年配の人が多いのですが、上手に宣伝しているせいか、若いお客様もかなりいらっしゃいます。太田胃散にしても、救心にしても人気がありますね。

家庭薬は我々もメーカーも、もっともっと大事にすべき薬だと思います。長い伝統と歴史に裏付けられているのですから、今後も自信をもって、より良い製品づくりに取り組んでいただければと思います。



創業：昭和10年。売場面積：15坪  
商品構成：薬30%、化粧品30%、  
雑貨30%、その他10%。  
東京都墨田区京島3-21-7

◆◆  
▲数々の家庭薬が並ぶ医薬品コーナーとまたま愛用のトクホンを買いに来た近所のお客様。

## 漢方医学最後の大家・浅田宗伯が処方

### ■良薬にして口に甘し

「浅田飴」といえば、固形タイプの「浅田飴クール」「浅田飴ニッキ」「浅田飴パッション」の三種類が主力商品ですが、そのルーツは、水飴の「浅田飴」にさかのぼります。

「薬は苦いもの」という常識をくつがえして「良薬にして口に甘し」といううたい文句とともに、「たん、せき一切肺病の持薬、ひきかぜ、よわき人、老人の滋養薬」が売り出されたのは、今から109年前、明治20年のことです。

当初は「御薬さらし水飴」と称され、桔梗、薬用人参、麻黄、葛根、桂皮油などが調合されたものでした。

この「御薬さらし水飴」の処方を、創始者堀内伊三郎に与えた浅田宗伯先生は、信濃国(現在の長野県)筑摩郡栗林村で代々医業を営む家に生まれ、天保三年、京都に出て中西深斎に傷寒論を学び、さらに頼山陽の塾に入つて儒学を修め、その後、江戸に移つて安井息軒らに儒学を学び、天保七年、江戸で開業。天保九年、郷里の高遠藩に迎えられて藩医となり、さらに慶応二年には徳川幕府の医官となり、明治維新の後に東宮殿下(大正天皇)の侍医となった人であります。明治維新以来、西洋医学が主流となつたなかで、漢方医学の最後の大家といわれた人物であります。

同郷のよしみから、堀内伊三郎に処方を伝授し、それを伊三郎が、たん、せき、滋養強壮に効果のある「御薬さらし水飴」として明治20年に創製発売しました。その2年後、浅田宗伯先生の名にちなんで「浅田飴」と改称、家業を継いだ息子の初代堀内伊太郎の手によって売り出されたのが現在の「浅田飴」の始まりであります。

まりであります。

創業時の店舗は神田富山町にありました  
が、明治22年に神田鍋町の大通りに店舗を移し、浅田飴本舗堀内伊太郎商店が誕生いたしました。その後、明治30年に現在地である神田鍛冶町に移りました。



引札と呼ばれる浮世絵の印刷技術を用いたチラシ広告  
(中央の楕円は歌舞伎の「先代萩」の“御殿の場”)

### ■ユニークな宣伝活動

売り上げが伸びた秘訣は、発売当初に初代伊太郎が展開したユニークな広告宣伝にあるようです。

冒頭に紹介しました「良薬にして口に甘し」は、最初に考案したキャッチフレーズですが、ほかにも「すきはらにめし、たんせきに浅田飴」という文句も作っています。これは歌舞伎の「先代萩」の中でもとりわけ有名な“御殿の場”的台詞を基に作ったものです。

また、「引き札」といわれる乳人政岡を用いた版画のチラシ広告を考案しており、現在、本社の応接間にも残っております。

### ■機械化と形状の改良

時代は大正に入り、水飴状の「浅田飴」を発売する一方、4年には携帯に便利な「固形

「浅田飴」を発売しました。

当時のものは、水飴状の浅田飴に寒天、砂糖などを加えて固めゼリー状とし、サイコロ形に切って澱粉をまぶして乾燥させて固形としたものであって、今日の固形浅田飴とは全く趣の異なるものがありました。

しかしながら、この製品は夏期に入ると、高温多湿の環境下では長持ちせず、失敗に終わるようでした。

大正11年、スペインかぜの大流行がわが国を襲い、浅田飴は飛ぶように売れました。このままでは生産が追いつかない、製造工程の機械化が企てられ、大正12年、機械類の据え付けも終わって、試運転の段階で関東大震災に襲われました。

関東大震災後、復興を機に「浅田飴」製造の機械化と「固形浅田飴」の改良が図られ、従来のゼリー状よりドロップ式の飴にすべく度重なる失敗の後、ついに艶のある碁石型の現在の「固形浅田飴」を完成させました。

また、従来からの「浅田飴」(水飴)も巻取式の缶を導入したため、漏れがなくなり面目を一新することになりました。だが、悪いことは重なりまして、第2次世界大戦で空襲に遭い、倉庫を残したのみですべてを焼きつくされました。



### ■戦後の復興

戦後、昭和22年に宮坂醸造(株)の中野にある工場を一時使用しまして、会社も法人組織に改組し、「浅田飴」の製造を再開いたしました。昭和24年に豊島区(現本社分室)に目白工場を設け生産増大に伴い、昭和39年に都下東村山市に村山工場を新設し、現在に至っております。

### ■長寿の秘訣は安心感

「良薬にして口に甘し」という歌い文句で広まった「浅田飴」ですが、あくまでも医薬品である故、その有効性・安全性については現在も学術レベルでの研究が続けられています。「浅田飴」は明治、大正、昭和、平成と四つの時代を生きる長寿商品であるが、その長寿の本当の秘訣は、人の好みや時代は変わっても、薬としての本質は何も変えていない「安心感」にあるのではないかでしょうか。

### 「浅田飴」(水飴)

#### 効能・効果

せき・たん・のどの炎症による声がれ・のどあれ、のどの不快感のどの痛み、のどのはれ

#### 成分・分量 36g (大人1日量) 中

キキョウ根エキス216mg、トコンエキス36mg、マオウエキス108mg、ニンジンエキス108mg、カッコンエキス108mg

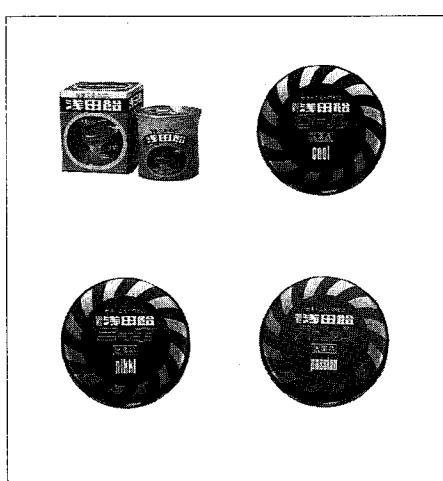
### 「固形浅田飴」

#### 効能・効果

せき・たん・のどの炎症による声がれ・のどあれ・のどの不快感のどの痛み、のどのはれ

#### 成分・分量 9錠中

ニンジンエキス67.5mg、トコンエキス40.5mg  
キキョウ根エキス94.5mg、マオウエキス40.5mg



## 消費者対応委員会のご紹介

# 消費者ニーズを製品に生かす

消費者対応委員会委員長 鯉沼信二

### ■11番目の委員会

東京都家庭薬工業協同組合（東家協）に11番目の委員会として、消費者対応委員会が発足しました。この委員会は昨年の12月に東家協理事会で承認されたもので、東家協組合企業9社からの委員で構成されております。第一回委員会は今年の2月19日に開かれ、その席上、以下のように役員が選出されました。

・委員長 鯉沼信二

(株)トクホン・学術情報室長)

・副委員長 佐羽功一郎

(養命酒製造(株)お客様相談室長)

・副委員長 佐々木利信

(わかもと製薬(株)学術部副参事)

また、当面の委員会の方針として

1.各製薬団体からの消費者対応情報の組合員への提供

2.苦情の具体的な事例の情報交換

3.苦情相談処理のフォーマットの検討  
を行うことになりました。

### ■注目される消費者対応

今日のように製薬企業にとりまして、消費者対応が注目され、また、各製薬団体に消費者対応委員会等が設立された発端は、『21世紀の医薬品のあり方を考える懇談会』の最終報告の中で、薬の適正使用の重要性を指摘されたことに始まります。

この報告書では、医薬品の情報収集・提供の問題点として「患者に対する投薬時の説明の不徹底、国民の医薬品に対する知識の不足」を指摘し、このことについて「……また、国民の間に医薬品についての心配や相談が多い事を考えると、公的な機関等で一般消費者

からの医薬品についての相談に応じる『くすり相談室（くすり110番）』を設置する事が望ましい」と述べております。

これを受けて厚生省では、医薬品機構の中に『くすり相談室』をつくり、消費者に対するくすり相談事業を始めましたが、この事業に業界から協力することを考え、作られたのが日薬連の『消費者対応部会』です。この日薬連の『消費者対応部会』は、日薬連所属団体から推薦された委員で構成され、全国家庭薬協議会からも1名の委員を推薦し、このくすり相談事業に協力をしております。

各製薬団体の消費者対応委員会等は、この日薬連の『消費者対応部会』で、自分の所属団体の意見を述べ、また、消費者対応の情報を得て、その情報を皆様方のお役に立てるようにしておりますが、東家協におきましてはこれから新設されました消費者対応委員会がこの仕事に取り組むことになります。また、大阪家庭薬協会においては、昨年、消費者対応小委員会が発足しており、この委員会が私たちと同じように活動しております。

### ■苦情相談は188件

製薬企業の消費者対応は、お客様からの問い合わせのみではありません。時として製品に不都合が生じると、お客様は企業に苦情をいってきます。この製品の不都合がお客様に被害を与えると、製造物責任が生じてきます。

昨年7月に製造物責任法（PL法）が施行されたことは記憶に新しいことですが、このPL法の施行では多くの企業で製品の見直し消費者対応体制の見直しなどが行われ、また各業界は競ってPLセンターを作りました。医薬品業界も『医薬品PLセンター』を、昨

年7月に発足しておりますが、今日までに同センターに寄せられた苦情相談は188件だそうです。

幸いPL訴訟に発展した事例は現時点ではないようですが、最近の傾向として、若干ですが、苦情相談件数は増える傾向にあるそうです。

『医薬品PLセンター』の話ですと、苦情相談の多くは、消費者から企業へ言ってくる苦情の一次対応のまずさが目立つとのことでした。すなわち、消費者からの苦情に消費者対応窓口が感情的になってしまふことが問題をこじれさせるとのことでした。

苦情相談がこじれて、PL訴訟にでもなると、企業の受ける損失は計り知れないものがあります。このことからも消費者対応窓口の仕事は、今後、企業にとって重要さを増すことになります。

企業の消費者に対する一次対応は、お客様からの問い合わせ、苦情を冷静に分析し、企業にとって不利益にならないように解決することが大切ですが、このことは口で言うほど簡単ではありません。担当者の教育も必要で

すし、また、同業者同士が情報を交換し、解決法を考えられれば、非常に役立ちます。私たちの消費者対応委員会は、このような場合にお役に立つことができればとも考えております。

### ■消費者に望まれる家庭薬を

企業に寄せられるお客様の声は、企業にとって大きな情報です。消費者が望んでいることを製品に生かし、経営に生かしていくことが、消費者対応の最大の目的です。お客様の声は消費者対応窓口で保存するだけでは役に立ちません。お客様の声は整理し、経営者にそして、社内全体に知らせ、消費者の望む製品の供給できる企業体質を作ることが重要です。

よく言われることですが、消費者はくすりに不信感を抱いています。この不信感を払拭し、消費者に望まれる家庭薬を一日も早く作ることを考え、消費者対応委員会は活動していきたいと考えておりますので、皆様方の温かい支援をお願いします。

(株)トクホン・学術情報室長)

## 会員会社訪問



### 養命酒製造株式会社

東京都渋谷区南平台町16-25

#### 沿革

慶長7年(1602)、塩沢宗閑翁が信州伊那の谷・大草(現・長野県上伊那郡中川村大草)で養命酒を創製。大正12年、(株)天龍館設立。昭和26年、養命酒製造株式会社に改称。31年、本店を現在地に移転。

社是  
奉仕

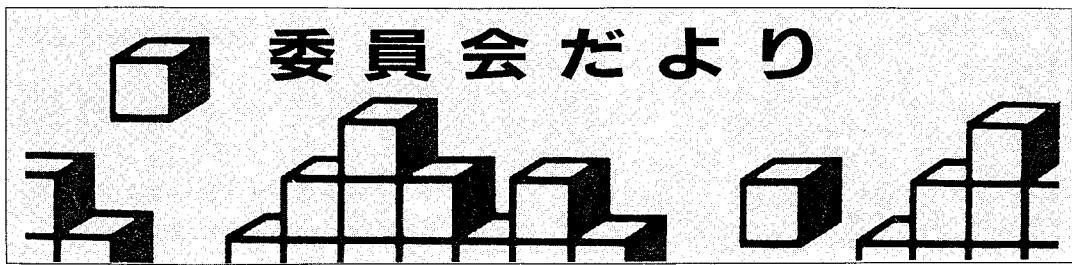
#### 社章

商標の「飛龍」を社章として用いている。龍が空を飛んでいる姿で、養命酒の優れた効果を表す意味をもつ。

◆ ◆  
創製以来約400年、わが国でも一二を争う老舗で、養命酒の名はつとに知られている。シェアは90%に達し、薬酒の象徴ともなっている。



代表取締役社長  
塩澤 譲  
大正10年生まれ  
明治大学  
商学部卒業



## 薬事委員会

委員長

三浦 重博

3月27日、7月3日に日薬連薬制委員会の全体会議が開催されました。その主な内容と最近の薬制に関する問題についてお知らせいたします。

### 1.薬事法改正について

6月26日に法律第104号により薬事法等の一部を改正する法律が公布され、承認前の特例許可に関する規定を除いて、明年4月1日から施行されることになりました。この改正は昭和54年以来17年ぶりの大規模な改正で、これはソリブジンや血液によるエイズ感染事故の反省に立って、治験→承認審査→市販後対策の総合的な安全確保対策のための改正といわれています。これから政省令や各種通知が出されますので、ご留意ください。

### 2.規制緩和問題について

4月19日に厚生省から、規制緩和等に関する意見・要望に対し、措置困難とされたもの理由等について公表がありました。日薬連の規制緩和検討委員会では、これらを含め9年度要望事項を9月乃至10月に提出すべく引き続き検討を行っています。

### 3.医薬品の許認可に関する迅速化システムについて

6月7日付で審査課から事務連絡として、フレキシブルディスク申請等に関するQ&Aが通知されましたので、参照してください。  
(組合より各組合員に送付済)

なお、部外品、化粧品を含めた最近のFD申請割合は、合計で60%に達しているとのことです。

### 4.一般用医薬品製造承認基準に関する検討経過について

当局において検討が進められていた「寄生性皮膚疾患用薬」は「水虫・たむし用薬」に改められ、その内容の検討もほとんど終了したので、近く内示が行われる予定となっています。

つづいて検討が予定されている「外用消炎鎮痛薬」については、その調査結果案が7月3日の薬制委員会で了承されたので、近く当局に提出されることになっています。

(株式会社ツムラ 顧問)

## GMP委員会

委員長

山田 正巳

6月19日に日薬連GMP委員会の全体委員会が開催されました。その概要について報告いたします。

### 1.第16回医薬品GMP研究会について

本年は10月末より11月中旬にかけ、東京、大阪、富山、福岡の4会場にて開催の予定で準備が進められている。

内容については、厚生当局より2題。都道府県は神奈川県、兵庫県より査察の実施実態について、メーカーからの事例発表は、バリデーションを中心として、マルコ製薬(株)、ベーリングラー・マンハイム(株)大阪工場、アルプス薬品工業(株)、ゼリア新薬工業(株)埼玉工場の

4題が予定されている。

### 2.医薬品GMP解説及び事例集の改訂について

平成6年厚生省令第3号及び第4号、いわゆる改定GMPのソフト及びハードについてのQ&Aについては、平成8年6月14日付薬監第42号において通知された。

また、従来の事例集（1988年版）及び原薬GMPのQ&Aについては、内容の見直し、改正GMPに合わせた並び変え等の日薬連側の作業は終了し、当局との調整の段階である。

なお、GMP解説については7月以降その見直し作業を開始する予定であり、いずれも上半期中に改定作業を終了させる予定で進めている。

### 3.注射剤異物混入防止対策検討委員会の経過報告について

注射剤への異物混入への当面の対策については、①過去の注射剤への異物混入事例、②都道府県により実施された立ち入り調査結果、③日薬連の異物混入対策検討委員会により実施された各企業の異物混入防止策に関する調査結果等を参考とし、中間報告書としてまとめられ、6月28日薬監第47号をもって課長通知として出された。

その後、内服固形剤製造メーカーに対するアンケート調査を7月に実施し、全般的な不良品発生防止策を年内に検討し、ガイドラインとして提言される予定となっている。

### 4.治験薬GMPについて

3月18日付で当局より治験薬GMP（案）が示され、それに対する意見、要望、質問等

が日薬連にて取りまとめられ、4月25日に当局に提出された。内訳はソフト関係226件、ハード関係10件、合計236件となっており、現在、当局において調整作業が進められている。なお、日薬連からは、通知後、説明会等の実施を当局にお願いしている。

### 5.生物学的製剤GMP作成検討会の経過報告について

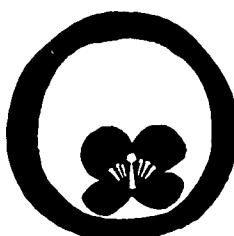
1月に検討会が開催された以降進展していないが、今後、案が公表され、業界の意見、要望等を求め、通知される予定である。

### 6.品質管理試験データ等についての電子ファイルのガイドライン検討会の経過報告について

医薬品等の製造業者及び輸入販売業者は薬事法施行規則第23条の規定により、品質等に関する記録を保管することが義務付けられている。これらの書類を保管するには広いスペースが必要であり、電子ファイルによる記録の保管により保管スペースの節約、検索時間の短縮等、業界としてもメリットの多いことである。

現在の電子ファイルの利用状況を調査し、規制緩和の観点から、電子ファイル利用の促進を図るうえで、薬事法での保存義務との関係で満たすべき条件を明確化して、電子ファイル利用のガイドラインを作成する研究班が、3月に設置され、7月に医薬品メーカー100社、医療器具メーカー100社のアンケート調査を実施後、本年度中にガイドラインとしてまとめられる予定となっている。

（株式会社ツムラ 品質管理部長）



## 流通委員会

委員長

鈴木 國之

日本経済は自律的な回復の入口に来ているといわれております。これは今年のうるう年の特殊要因が個人消費の好調をもたらし、また、経済対策の効果が本格的に表れた公共投資と民間住宅の投資が景気の下支えとなって景気の回復をもたらしたものと思われます。

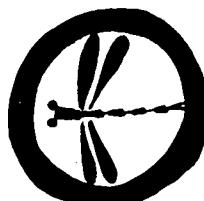
しかしながら公共投資の息切れが見えはじめ、また、住宅投資も金利の上昇等で持続性に疑問符がつく現状です。

このように景気上昇はまだまだ先行き不透明な部分もありますが、今後は設備投資と個人消費を如何に高めるかにかかるております。

我々薬業界におきましても薬剤費抑制策がますます強く打ち出されるのは必定であり、その分、大衆薬部門の比重が見直される時期に来ております。

我々流通委員会としても規制緩和問題、再販問題、小売・卸の流通問題等、重要な課題が山積しております。

このような課題を踏まえ、去る5月16日に神戸市有馬の「兵衛・向陽閣」において全家協流通委員会、第39回家庭薬流通懇談会を開催し、流通に関する当面の課題として、コンビニ等における医薬品の無資格者販売への規制緩和、全商連や近畿流懇の最近の動向、新高橋盛大堂の内整理の進行状況等について種々協議を行いました。



ますます厳しくなる環境に対応し、相互の連絡を密にし、家庭薬発展のために最善の努力をいたしたいと存じますので、今後ともよろしくご支援のほどをお願いいたします。

(株式会社トクホン 専務)

## 広告委員会

委員長

山崎 寅

日本大衆薬工業協会の広告審査会レポートにも記載されていましたので、ご存知の方も多いでしょうが、行政当局から二つの点につき周知徹底を図られたい旨の申し入れがありました。ここに再度記しまして、皆様のご注意を促したいと思います。

1.ビタミンE剤、ビタミンEC主薬製剤での

「過酸化脂質の増加防止」の表現について  
「一般用医薬品の広告自粛申し合わせ」(平成6年3月22日)に「ビタミンE主薬製剤、ビタミンEC主薬製剤に関する広告表現について」の一項があります。

これによりますと、「ビタミンE主薬製剤及びビタミンEC主薬製剤の効能または効果として「過酸化脂質の増加防止」と標榜することは認められないが、ビタミンEの作用として貼付文書に記載することは差し支えない」とあり、これの解釈として次の通り示されております。

①「貼付文書等」の「等」とは、製品ラベル、外箱、パンフレット、広告を指すものであること。

②「「過酸化脂質の増加防止」と記載することは差し支えない」とは、この文言を貼付文書その他に、承認された効能・効果の内容や作用機序を説明するために使用することは差し支えないが、この文言でいう働きの結果例えば、動脈硬化に効くとか、その予防に効

果がある旨を表現することまでは認められないこと。

とされております。しかしながら、最近、「過酸化脂質の増加防止」の文言やキャッチフレーズ的に強調表現されたり、効能外である動脈硬化の予防等が唱われているケースが見受けられますので、このようなことのないよう、充分ご注意願います。

## 2.湿布剤での「かぶれにくい」「肌にやさしい」等の表現について

湿布剤では、材質のもつ通気性等の特性を表現するために、「かぶれにくい」「肌にやさしい」等表現することは認められますが、配合成分がそのような特性を持っていると表現すること、例えば、「かぶれにくい〇〇配合」とか「〇〇を配合しているから肌にやさしい」等と表現することは、安全性を不当に強調する表現となるおそれがあるため、認められませんので、ご注意願います。

というものです。

また、昨今の花粉症の鼻炎用剤の広告で、「くしゃみ」「鼻づまり」だけで、「～の緩和」と正確に書いていないものが増えています。同様に、ビタミン内服液でも「眼精疲労」「肩こり」等だけで「～の緩和」が抜けてい

るものが多いようですので、広告作成の際ご注意ください。

(株式会社金冠堂 社長)

## 労務委員会

委員長

藤原 哲夫

本年4月の社内的人事異動により、人事部長に就任いたしました。人事部長就任と同時に、歴史のある東京都家庭薬工業協同組合の労務委員会委員長という大任を仰せつかり、誠に恐縮しております。

しかしながら、任命されたからには諸先輩方のご協力をいただき、労務委員会を今まで以上に活性化し、実のある活動をしていきたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻をいただくよう、よろしくお願ひいたします。

さて労務委員会では、秋山錠剤、河合製薬、浅田飴、わかもと製薬、イチジク製薬、救心製薬、養命酒製造、太田胃散、トクホン、龍角散、原沢製薬、東京甲子社、金冠堂、ツムラの14社が定例会議を開催して労使関係の諸

## 会員会社訪問



### 株式会社龍角散

東京都千代田区東神田2-5-12

#### 沿革

寛政11年（1799年）、秋田藩主佐竹侯の典医藤井正亭治氏が龍角散を創製。明治4年、神田豊嶋町で売薬を業として発足。26年、藤井得三郎商店を開業。昭和3年、株式会社に改組。39年、株式会社と改称。

#### モットー

のどを守って200年、これからも守り

続けます。

#### 社章

龍という文字を象形化し紋章としたもので、3匹の龍が重なっている様子を表している。緒方富雄博士が考案。



代表取締役社長  
藤井隆太  
昭和34年生まれ  
桐朋学園大学  
研究科修了

のどの専門メーカーで、鎮咳去痰剤・龍角散の名は広く知られている。総合医療産業を目指している。

## 委員会だより

問題について情報交換および検討を重ねてきました。

3月の定例会議では、昇給に関して各社の状況を話し合い、要求、回答または回答の見通し等について情報交換をしました。

各社とも今年度の賃上げに関しては、横並びの賃金決定方式が形骸化してきており、春闘の見直しが呼ばれていたり、また、年俸制の導入など実力主義、成果主義に移行する企業が増えている現況下において、どのように対応していくべきかの方向性を探るべく、真剣に情報交換や検討を行い、有意義な会議となりました。

7月の定例会議は、昇給交渉の総括、賞与交渉の経過について各社の状況を話し合い、情報を交換する予定であります。

春闘方式の是非が問われるのも時代の流れではありますが、今後、昇給、賞与に対してどのように考え、どのようにアプローチし、各社の置かれている状況を踏まえて具体化していくかが問われているものと思います。

労働条件全般にわたる今後の方向性を見出すべく委員会を運営していきたいと考えております。

(株式会社ツムラ 人事部長)

## 厚生委員会

委員長

石原 道郎

本年6月13日に熱海「大観荘」において恒例の東家協懇親会が開催されました。当日は午後3時30分から理事会も開かれ、引き続いて午後6時から、先般の総会にて改選された正副理事長を始め、役員、組合員多数出席のもとに楽しいひとときを過ごしました。

また、当委員会ではTKGCゴルフ会を設けており、現在の会員は20名で隔月に実施しております。

年会費は1万円、例会費は7千円ですので、親睦のために多くの方には是非ご入会くださいるようおすすめいたします。

そのほか、毎年実施しております家庭軟式野球大会も今年は第54回を数え、現在、野球委員の方々により10月27日から神宮外苑野球場にて開催すべく種々準備が行われております。

(石原薬品工業株式会社 社長)

## お知らせ 新役員の選出について

5月23日の第49回通常総会において、役員の任期満了に伴う改選の結果、次の通り役員が選任されました。なにとぞ、特段のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長	塩澤 譲	養命酒製造(株)	社長
副理事長	風間八左衛門	(株)ツムラ	社長
副理事長	相良 高三郎	イチジク製薬(株)	社長
理事	太田 昭	(株)太田胃散	社長
同	秋山 泰伸	秋山錠剤(株)	社長
同	堀内 恵美子	(株)浅田飴	社長
同	石原 道郎	石原薬品工業(株)	社長
同	宇津 善博	宇津救命丸(株)	社長
同	堀 正巳	救心製薬(株)	社長
同	山崎 寅	(株)金冠堂	社長
同	渡邊 吉康	三宝製薬(株)	社長

同	宮川 修作	(株)東京甲子社	社長
同	鈴木 規允	(株)トクホン	社長
同	高綱 基裕	ニチバン(株)	社長
同	原澤 純一	原沢製薬工業(株)	会長
同	竹内 彪衛	(株)山崎帝國堂	社長
同	藤井 康男	(株)龍角散	会長
同	牧田 潔明	わかもと製薬(株)	社長
監事	河合 和彦	河合製薬(株)	社長
同	建林 邦信	(株)建林松鶴堂	社長
同	玉川 博之	玉川衛材(株)	社長

## 総務・財務委員会

総務委員長 財務委員長  
鈴木 規允 堀 正巳

本年1月26日に塩澤理事長、相良副理事長臨席のもとに合同委員会を開催し、昨年末に組合ビルのテナントでもある(株)メイインから申し入れのあった退去に関する内容と組合ビルの老朽化対策について検討を行った結果、次の方針を決定した。

1.現在の不動産の流通状況や経済状態を考慮して、ビルの買い換えや抜本的な改築はせず現在の標準的な貸室状態への改修工事を実施する。

2.賃料を現在の相場を考慮して見直しを行い、また、前記改修工事を実施することを前提に賃貸借契約の継続交渉を行う。

以上の方針に基づいてテナントと再三交渉の結果、理事会の承認を得て賃料を31%値下げして契約の継続が行われることとなった。

また、改修工事費用には約1,300万円を要することになり、いずれも理事会の承認を得て

工事に着工、5月に完了した。

4月10日には決算及び予算等に関する総会提出議案の検討を行い、さらに理事会の議決を経て5月23日の総会において承認された。

なお、本年度は組合ビル改修工事等の支出増や賃料の減収などにより、止むなく会費を約20%増額せざるを得なくなったことをご了承願います。

約20年に亘り総務委員長としてご活躍された宮川修市様が、先般の総会にて理事を退任され、同時に委員長をも辞任されたので、新たに総務委員長に鈴木規允様（株式会社トクホン取締役社長）が就任されました。よろしくお願い申し上げます。

宮川前委員長には大変長い間お世話になり紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

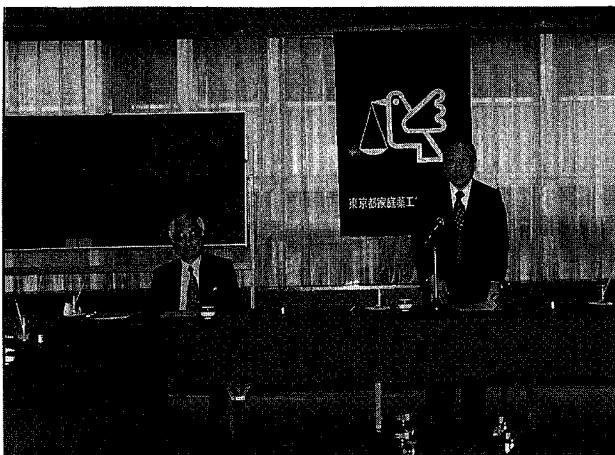
※（救心製薬株式会社 社長）

## 広報委員会

委員長  
友田 真二

前号で組合建物取得の経緯を座談会を通じ

### ●第49回通常総会より



ご挨拶される塩澤理事長



ご挨拶される相良副理事長

てご紹介し、当組合の先輩の方々のご苦労と我々の資産として引き継がれている現状をご理解いただき、補修費は相当かかりましたが、引き続き「メイスン」さんがご活用くださることにより、組合員各位に年間約700万円の恩恵が確保されることとなるとの専務理事の報告があり、『かていやく』がお役にたてたと委員一同喜びあいました。

最近、外資系製薬企業の日本進出も愈々本格化のキザシが見えはじめ、薬価の引き下げも厳しく、新薬メーカーのリストラや合理化、新薬開発と薬価収載への努力も大変な模様です。

厚生省も薬害エイズの対応で従来の行政のあり方が再検討されつつあり、薬の副作用に対する消費者の眼も厳しさを増しております。

過去10年間で卸店は800余店が290店に統合され、さらにコンピューター化と配送の合理化に取り組むのに真剣ですし、病院経営も相対的医療費抑制と老人人口の増加の中で体質改善が求められ、苦しいところも多いと聞きますし、小売業界も超大型店と中型大型店の激しい価格破壊の生き残り競争が行われております。流通業界には問題山積の昨今です。

昨年のOTCは総体的には横ばい傾向と言われながら、売れ筋商品の流れは刻々と変化を見せており、剤型の変更やパッケージの若者向け、あるいは現代向けへの模様替えがあり、また、健康食品業界よりビタミン剤、カルシウム・鉄剤、滋養強壮剤・栄養補給剤等、安価に流通しつつあります。

家庭薬業界は今まで比較的安定した市場の



中で、それなりにゆるやかな競争をしながら生き抜いてまいりましたが、他業種の参入と大手新薬メーカーの割り込みも目立ち、激動の時代が身近になると軽薄短小な企業の特色を發揮しそうな好機ともいえると思います。より的確な情報の把握と敏速な対応が望まれます。

新設の消費者対応委員会も活動を開始いたしました。広報委員会もツムラの委員が平間彰さんから小松直木さんに替わり、また養命酒広報部参事の小林勇さんが6月23日急逝され、後任に副長の伊沢隆司さんが7月の委員会より新たなるメンバーとして参加されました。

小林さんは在任中、理事長会社の委員である自覚のもとで本当に誠意あるお仕事をしていただき、心より御礼とお悔やみを申し上げます。

『かていやく』の予算は減額されましたが、より充実した内容でお届けできるよう努力する所存です。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

(三共エール薬品株式会社 顧問)

### ●書籍紹介● 『漢方革命』もっと効く飲み方・選びかた 建林頌雅著（建林鶴松堂 社長）

漢方薬をより効かせるには、まず自分の素因を知ることだ…と易学（陰陽五行説）の立場から論ずる本書は、全六章で構成されている。

第一章は「あなたの素因を知らないければ漢方は効かない」、第二章「受胎日を知ることが漢方の基本」、第三章

「名前でわかるあなたの病気・運気」、第四章「飲み方を間違うと効果がない」、第五章「上手に使えばこんなに良くなる」、第六章「あなたにあった医食同源はこれだ」。わかりやすく、入門書としても最適の一冊である。



KKロングセラーズ、四六判、206頁、1300円

# 親の意見となすびの花は



医薬ジャーナリスト 松井壽一

### ■効くか効かないか

善と悪、黒と白、源氏か平家かと、とかく二つに分けることが多いが、こうした考え方はどこから来ているのであろうか。男と女しかしらないからであろうか。薬について考えてみると、効くか効かないか、である。

しかし、同じ薬であっても、人によって違ってくるし、用いる時によっても違ってくる。二者択一の簡単な論理では説明できないことが多い。

最近の研究では、ある病気の人が特定の薬を飲むのでも、もっとも効果が上がる時間帯があるということがわかっている。食前、食間、食後と、これは三分割法だが、同じ伝で朝、昼、夜という分け方もある。

医師が患者に絶対言ってはならない禁句の一つに「もう少し早かったら」があるが、薬にも早い、遅い、つまり、<sup>そっなく</sup>啐啄の時があるようである。

### ■感動の三要素

徳川將軍家の剣術指南役として有名な柳生家の家訓は次のようにある。

- ・小才是縁に会って縁に気づかず。
- ・中才是縁に気づいて縁を生かさず。
- ・大才是袖すり合う他生の縁も生かす。

一期一会という言葉は千利久が茶の湯の道を説く時に言ったと伝えられているが、限られた人生なのだから、出会いは大事にしたいものである。夏目漱石も「人生は邂逅である」と言っている。いい師に会う、いい友に会う、よき伴侶に出会う、まさに感動である。

感動の三要素は本能、成就、出会いと言われる。おいしいものを食べる。すばらしい景色を見る。本能を満足させられることは感動となる。念願の学校へ入れた、国家試験に合格した、目標を達成すること、念願が成就することも感動である。そして出会いである。

いま地球上に57億人余の人々が住んでいる。その全ての人と出合うことは無理である。ごくわずかな限られた人との出会いしかないがそれが縁であり、語るに足る、心の琴線に触れる人と出合えれば感動である。

財産とは土地や家屋や地位や名誉やお金ではない。よい友、よい趣味、よい家庭をもつことである、と喝破した人がいる。

### ■上医、中医、下医

『神農本草經』では薬を上・中・下に三分類している。読者各位はとっくにご存じのことと思うが、念のため記述しておこう。

上薬は君といって不老長生の薬。害はなく連用が可能で身を軽くし、体力を増進させる(今日でいう保健薬である)。

中薬は臣。病を防ぎ、体力を補うもので、毒の有無をよくわきまえ、適宜配合して用いる。

下薬は佐使と呼ぶ。病を治すのを主とし、毒性も強いから、長期にわたる連用は慎まなければならない。(今日の新薬、つまり医療用医薬品といったところであろう)。

古代の中国人は医師についても、上、中、下ありとしている。今日では医師と薬剤師の職能は分化しているが、古代にあっては同一人格の中に入っていたと考えられる。従って

以下の説明は薬剤師にも当てはまると考えたほうがよいであろう。

- ・上医は国を癒し
- ・中医は人を癒し
- ・下医は病を癒す

病気のことだけしか見ていないのはヤブ医者だと言っている。病気のもとである心を癒して元気にさせるのが、まともな医者だと言っている。

皆が元気を出して、ヤル気が起きる社会の常識や価値観、ひいては、社会の成り立ち等を本来あるべき姿にするようにと心を尽くすのが、本当の名医であると言っている。

## ■七七七五の世界

幕末に活躍した坂本龍馬は次のような都々逸を残している。母を早くに亡くして、姉に育ててもらった龍馬が、医者の後添えとして嫁ぐことになった姉に宛てた手紙の中に書かれていたものであるという。

医者の頭に雀がとまる  
とまる筈だよヤブじやもの

高杉晋作も有名な都々逸を残している。若くして生命を的に戦った志士たちには、粹というか洒脱な面を持っている人が多かった。

三千世界の鳥を殺し  
主と朝寝がしてみたい  
巷ではサラリーマン川柳が好評を博している。五七五の凝縮された世界で思わず頬をゆるめたり、吹き出したりすることができる。七七七五の都々逸の世界はまた趣が変わって、痛烈な風刺もあるが、情緒纏綿たる雰囲気もある。

多くの民謡も都々逸と同じ七七七五である。たとえば「草津節」をみてみよう。

草津よいとこ一度はおいで  
お湯の中にも花が咲く  
お医者さまでも草津の湯でも  
惚れた病は治りやせぬ  
薬都・富山の代表的な民謡「越中おわら節」もそうである。

八尾よいとこおわらの本場  
二百十日を出て踊る  
去年見染めたあの編笠が  
今年や二人の風の盆  
これらの文句を歌うときは、七七七ときてコリヤとかオワラとか離子言葉を入れ、最後の五となるわけである。

本会の会員の皆さんはワビ、サビ、イキの世界に通暁されている方が多いと思われるので、川柳、都々逸の欄を『かていやく』に設けられたらいかがであろうか。俳句、短歌となるとチト堅苦しくなるが、川柳、都々逸は自由闊達でのびやかな世界である。会員諸氏の作品が並べば、会報のオアシス的存在になるのではなかろうか。

都々逸の場合、同好の士が集まって作るときは席題が出される。たとえば「薬」ときたら、薬を詠みこんでもいいし、薬という字が一つもなくても、歌全体から読み取れればいいわけである。これは誰でも知っている文句だが、「薬」を表しているとも受け取れる。

親の意見となすびの花は  
千に一つの無駄もない  
いいことを言ってもらったときは、為になつた、薬になったと言うからである。こんな遊びを紙面でしませんか、と提案したい。

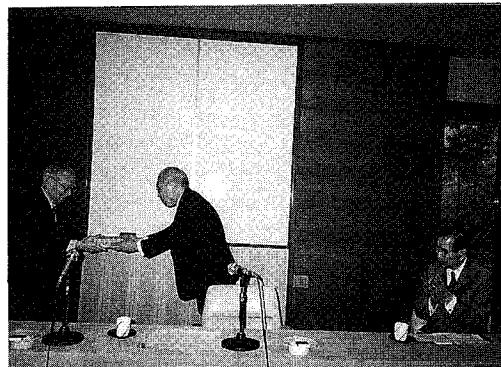


# 家庭薬グラフティー

## ■総会

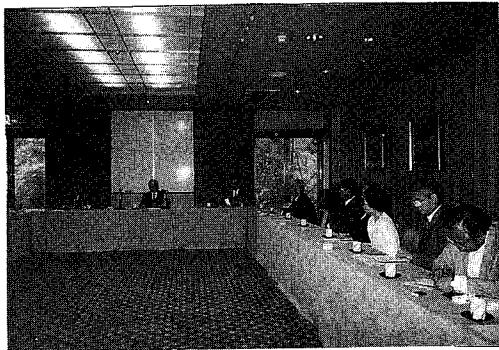


▲第49回通常総会（5月23日、日本橋俱楽部で）



▲前理事、前総務委員長として約20年にわたり組合の発展に尽力された宮川修市氏に感謝の意をこめて記念品を贈呈（熱海「大観荘」で）

## ■理事会



▲熱海「大観荘」で（6月13日）

## 編集後記

◆フレッシュマン風間副理事長の巻頭言で、セルフメディケーションの浸透にOTCの医療関係者への啓蒙活動が重要であるとのご卓見は長らく新薬畑で医療関係者と接しておられただけに、我々もご指導いただきつつ推進したいことがあります。

◆玉川さんの若き経営者の声も家庭薬組合員の機能をフルに活用して、脱皮のために新製品の開発に、試験に、新剤型化に、育成に、また国際化に力を合わせて対応するための情報の交換の委員会があっても良いのではないかとのご提案は今後の宿題でしょうか。

◆延命堂山田屋さんよりメーカーの心を消費

者へもと家庭薬を愛する薬局様の声を聞かせてくださいました。

◆松井寿一さんの正に「下医は病を癒す」が…と現在の医療制度を鋭く突き、病気のもとである心を癒して元気にさせること、皆がヤル気が起きる社会を作るためにもゆとりのある遊びのある紙面作りをせよと有り難いご提案です。

各委員会も活発に活動しておられます。組合員も情報を充分生かしながら、厳しい時代を乗り切って生きたいものです。

（三共エール薬品株） 友田）

# 事務局だより

## ● 1月30日

板橋区「はぎわら」において厚生委員会野球部会を開催し、第54回家庭薬軟式野球大会の打ち合せを行った。参加チームは23チームが予定されている。

試合日程は10月27日～11月24日の期間中の日曜日に明治神宮外苑グラウンドで行われる。

## ● 5月16日

神戸市有馬「兵衛・向陽閣」において全家協流通委員会並びに家庭薬流通懇談会が開催され29名が参加した。

## ● 5月23日

日本橋俱楽部において、東京都家庭薬工業協同組合第49回通常総会を開催した。平成7年度の事業報告、決算関係並びに平成8年度の事業計画、収支予算、その他の議題が承認、可決されたほか、役員改選が行われ、互選により、

- ・理事長 塩澤 護殿（重任）
- ・副理事長 相良高三郎殿（重任）
- ・副理事長 風間八左衛門殿（新任）

以上の3名が選ばれ、それぞれ就任された。

## ● 5月28日

全国家庭薬協議会では、日本橋小舟町の東京薬業厚生年金基金會議室において第31回定期総会を開催した。

## ● 6月13日

熱海「大観荘」において理事会を開催、引き続き、厚生委員会主催による組合懇談会が、組合員多数出席のもと開催された。

## ◆組合員の異動

平成8年3月31日に組合員であった八ツ目製薬株式会社が退会し、7月11日に下記の会社が賛助会員として加入された。なお、現在の組合員数は賛助会員を含め69社である。

### ・入会

株式会社サンギ

東京都中央区築地3-11-6

代表取締役社長佐久間周治殿

## ◆東家協職員の異動

長い間、東家協専務理事として勤務された野原和夫氏が病気療養のため、本年4月末日をもって退職されました。なお、後任には全家協の唐崎實専務理事が就任され、また、全家協専務理事には7月21日付をもって元厚生事務官の武田久氏が就任されました。

## 訃 報

平成6年10月から、広報委員会委員として本誌の発行に大変なご努力をいただきました小林勇氏（養命酒製造株式会社広報部参事）には、本年6月23日に脳溢血により急逝され、同月28日に目黒正覚寺において葬儀が執り行われました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

かていやく

通巻59号 1996年8月15日

編集人：かていやく広報委員会

発行所：東京都家庭薬工業協同組合

〒104 東京都中央区銀座8-18-16

電話 03-3543-1786 FAX 03-3546-2792

